

タイトル

クラス：1

学籍番号：123ABC

氏名：苗字名前

1 あいう

1.1 枠囲い

```
<div class="theorem">
  <div class="theorem-heading"></div>

  数列  $\{a_k\}$  について考える。
</div>
```

例 1.1. _____

数列 $\{a_k\}$ について考える。インラインコードは こんな感じaieuo に表示される。

例 1.2. _____

数列 $\{a_k\}$ について考える。

例 1.3. _____

数列 $\{a_k\}$ について考える。

1.2 枠囲い続き

例 1.4. _____

数列 $\{a_k\}$ について考える。

1.3 番号付き数式

$$\sum_{k=m}^n a_k = a_m + a_{m+1} + \cdots + a_n \quad (1.1)$$

1.4 表のサンプル

表と図の区別は、<figure>要素のどこに<figcaption>要素があるのか

- 一つ目の場合：表として扱われる
- 一番最後の場合：図として扱われる

表 1 銅線の抵抗値の温度変化

温度 $t(^{\circ}\text{C})$	19.0	24	28	30	19.0	24	28	30
抵抗 $R_{ab}(\Omega)$	7.3	7.4	7.5	7.6	7.3	7.4	7.5	7.6
抵抗 $R(\Omega)$	7.2	7.3	7.4	7.5	7.2	7.3	7.4	7.5

1.5 図のサンプル

次のような記法を使用します。

```
![銅線の抵抗値の温度変化](assets/1_銅線.png){.fig #fig-Cu width=500}
```

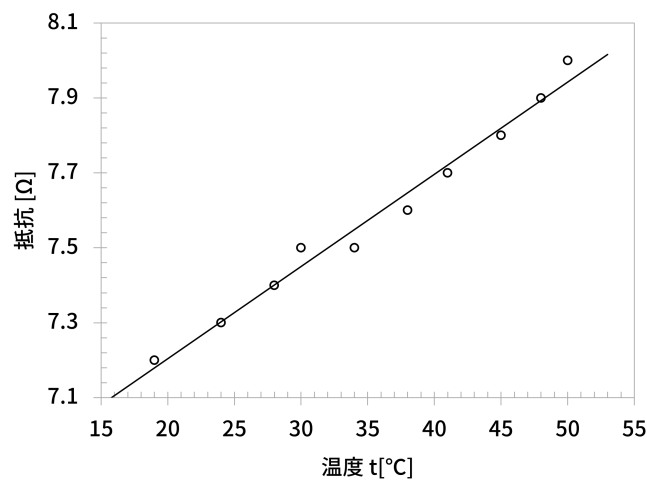


図 1 銅線の抵抗値の温度変化

- `.fig`
 - 図のためのクラス
 - おそらく、`theme-academic`で定義されていたはず
- `#fig-Cu`
 - 図のid
 - 一意にする必要がある
 - 別の場所で「`[](#fig-Cu){.fig-ref}`」と書けば、「図1」のように呼び出せる

- `.fig-ref`は、このリポジトリで定義してある
- 図に振ったidを、`a`タグを介して取得しているらしい
- 図の番号は自動で挿入される

1.6 番号付き数式続き

$$\sum_{k=1}^5 k^2 = 1^2 + 2^2 + 3^2 + 4^2 + 5^2 = 55 \quad (1.2)$$

2 段落 2

例 2.1.

数列 $\{a_k\}$ について考える。

$$\sum_{k=1}^5 k^2 = 1^2 + 2^2 + 3^2 + 4^2 + 5^2 = 55 \quad (2.1)$$